

「福岡市環境基本計画」(第三次)の成果指標の達成状況一覧

1. 分野別施策

成果指標	現状値(基準) (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
第1節 快適で良好な生活環境のまちづくり			
第1項 黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応			
PM2.5の予測精度	見逃し率 48.1% (2013年度)	100.0% (2019年度)	30%以下 (2024年度)
第2項 良好な生活環境の保全			
環境基準(大気質)の達成率	NO ₂ 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)
環境基準(有害大気汚染物質)の達成率	ベンゼン 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)
環境基準(自動車騒音)の達成率	95.3% (2012年度)	96.3% (2019年度)	100% (2024年度)
環境基準(ダイオキシン類)の達成率	100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)
第3項 気候変動への適応			
都心部 ^(※) における緑被面積 ※都心部：御笠川～百年橋通り～高宮・大正通りで 囲まれたおよそ3km四方、面積920haの範囲	96 ha (2007年度)	97 ha (2017年度)	103 ha (2020年度)
第4項 歴史・景観を活かした美しいまちの実現			
市民のマナーに対する満足度	31.5% (2012年度)	40.8% (2019年度)	60% (2022年度)
自転車放置率	2.0% (2018年度)	1.7% (2019年度)	現状維持 (2024年度)
第2節 市民がふれあう自然共生のまちづくり			
第1項 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成			
全市域における緑被面積	18,864 ha (2007年度)	18,921 ha (2017年度)	現状維持 (2020年度)
農地面積 (農業振興地域の農用地区域内)	1,559 ha (2014年度)	1,553 ha (2019年度)	現状維持 (2023年度)
森林面積	11,054 ha (2010年度)	10,959 ha (2015年度)	現状維持 (2024年度)
環境基準(博多湾)の達成率	COD 62.5% (2012年度)	25% (2019年度)	100% (2024年度)
環境基準(河川水質)の達成率	BOD 100% (2012年度)	100% (2019年度)	100% (2024年度)
カブトガニの卵塊・幼生数	卵塊：12 幼生：63 個体 (2012年度)	卵塊：18 幼生：23 個体 (2019年度)	現状維持 (2024年度)
第2項 自然からの恵みの持続的利用の促進			
身近な緑への満足度	31.6% (2012年度)	30.6% (2019年度)	55% (2022年度)
地域の公園の親しみ度	57.7% (2012年度)	66.6% (2019年度)	75% (2020年度)
福岡市の農林水産業を守り育てていくべき だと思う市民の割合	75.2% (2012年度)	74.7% (2019年度)	85% (2022年度)
学校給食への市内産農産物利用割合(野菜) ※小学校における主要14品目の重量ベース	31.1% (2012～2014年度平均)	29.5% (2017～2019年度平均)	33.4% (2021年度)
背振少年自然の家庭利用者数	28,737 人 (2012年度)	25,622 人 (2019年度)	30,000 人 (2024年度)

成果指標	現状値 (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
農林業ふれあい施設年間利用者数 ・油山市民の森/油山牧場/花畑園芸公園/ 市民リフレッシュ農園 (今津・立花寺)	872,920 人/年 (2013 年度)	889,500 人/年 (2019 年度)	1,000,000 人/年 (2024 年度)
海づり公園利用者数	69,719 人/年 (2013 年度)	61,908 人/年 (2019 年度)	72,000 人/年 (2024 年度)
第 3 項 生物多様性の認識の社会への浸透			
生物多様性を理解し、その保全を意識して 行動している市民の割合	14.7% (2012 年度)	16.2% (2019 年度)	35.0% (2024 年度)
第 3 節 資源を活かす循環のまちづくり			
第 1 項 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進			
ごみ処理量	56.3 万 t (2012 年度)	56.5 万 t (2019 年度)	47 万 t (2024 年度)
ごみのリサイクル率	30.6% (2012 年度)	31.0% (2019 年度)	37% (2024 年度)
第 2 項 廃棄物の適正処理の推進			
不法投棄処理量	87 t (2012 年度)	23t (2019 年度)	39 t (2024 年度)
第 3 項 水資源の有効利用の促進			
市民 1 人あたり水使用量 (市民一人一日あたりの家事用水使用量)	201 リットル (2012 年度)	197 リットル (2019 年度)	現状維持 (2024 年度)
第 4 節 未来につながる低炭素のまちづくり			
第 1 項 省エネルギーの促進			
家庭部門における 1 世帯あたりのエネルギー 消費量	30.1 キガジュール (2006~2010 年度平均)	21.0 キガジュール (2018 年度)	22.1 キガジュール (2024 年度)
業務部門における延床面積 1 m ² あたりのエネ ルギー消費量	1.08 キガジュール (2006~2010 年度平均)	0.78 キガジュール (2018 年度)	0.88 キガジュール (2024 年度)
第 2 項 再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントシステムなどの導入・活用			
再生可能エネルギーの設備導入量	11 万 1 千 kW (2012 年度)	22 万 3 千 kW (2019 年度)	30 万 kW (2024 年度)
第 3 項 低炭素型の都市構造及び交通体系の構築			
1 日あたりの鉄道・バス乗車人員	112 万 1 千人 (2012 年度)	129 万人 (2018 年度)	120 万人 (2022 年度)
公共交通の便利さへの評価	77.4% (2012 年度)	78.6% (2019 年度)	現状維持 (80%程度を維持) (2022 年度)
都心部への自動車の流入台数	88,600 台/12 h (2013 年度)	84,300 台/12 h (2019 年度)	87,000 台/12 h (2022 年度)

2. 分野横断型施策

成果指標	現状値 (把握年度)	今回調査結果 (把握年度)	目標値 (目標年度)
第 1 節 環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり			
第 1 項 環境行動を担う人材の育成			
環境教育・学習人材リスト登録者数	44 人 (2013 年度)	54 人 (2019 年度)	80 人 (2024 年度)
第 3 節 ふくおか から九州・アジアへ			
第 2 項 国際環境協力の推進			
視察・研修受入人数	602 人 (2011 年度)	402 人 (2019 年度)	1,700 人 (2022 年度)